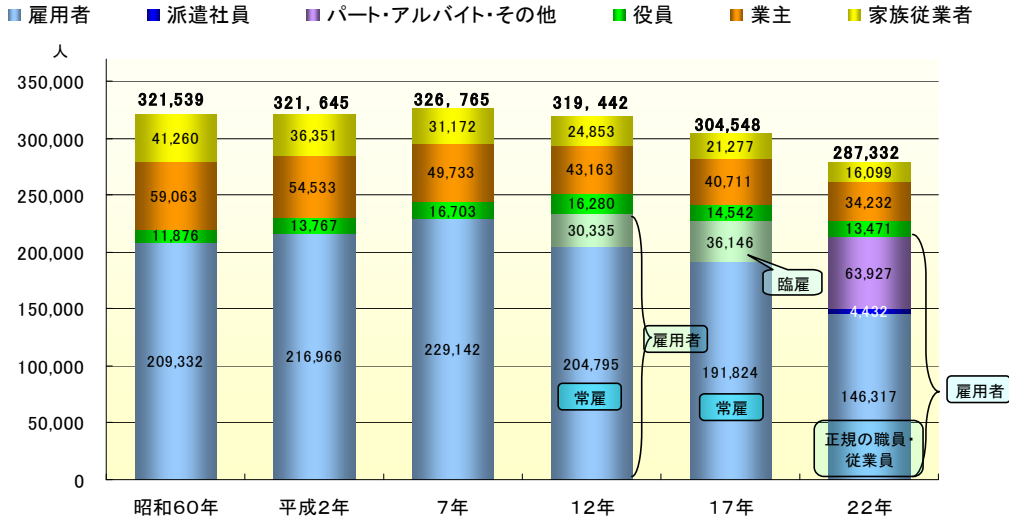


平成22年国勢調査でみる鳥取県

～従業上の地位と労働力状態～

従業上の地位

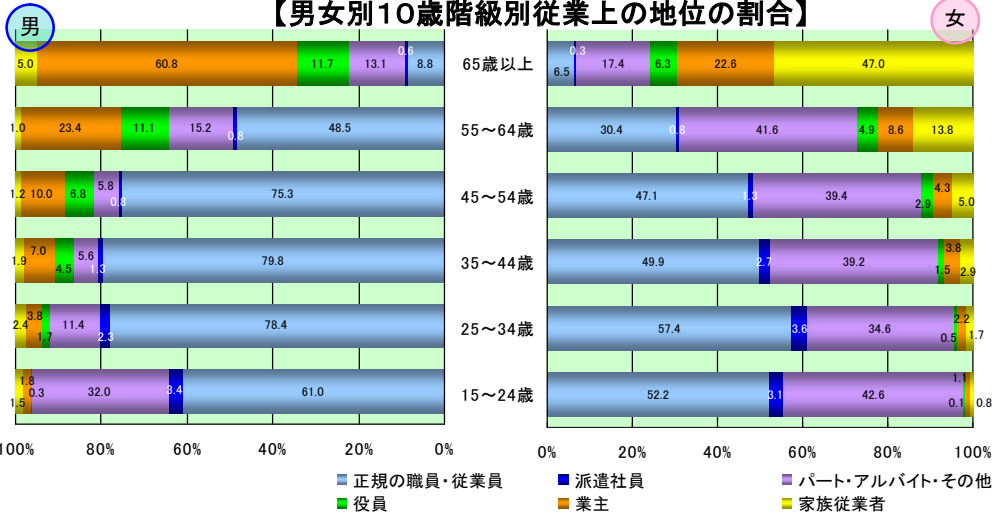
【従業上の地位の推移】



昭和60年から平成22年までの就業者数の推移をみると、平成7年を境に減少に転じています。
雇用者については、平成22年から
・正規の職員・従業員
・派遣社員
・パート・アルバイト・その他の分類で調査することになりました。
平成17年結果から雇用者が減少していることもわかります。

※ 総数には、従業上の地位「不詳」を含む

【男女別10歳階級別従業上の地位の割合】



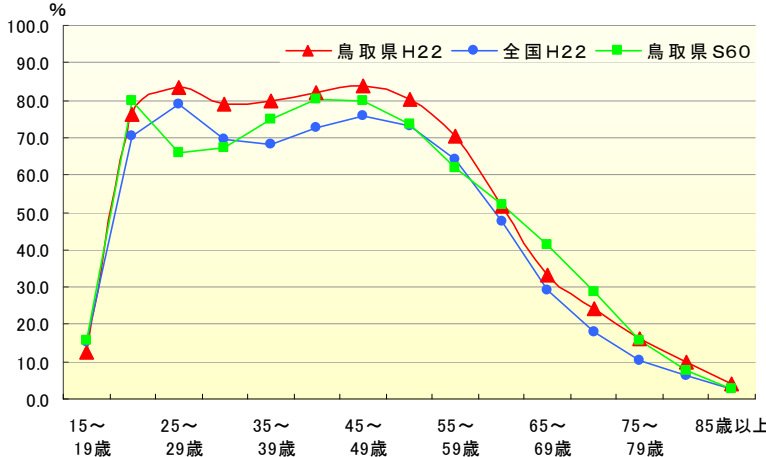
従業上の地位について、25歳からの雇用者の内訳に男女別で差があることがわかります。特に、パート・アルバイト・その他の割合には、大きな差があることが見えます。男女ともに年齢が上がるにつれて、業主、家族従業者の割合が大幅に増加しています。

従業上の地位とは、働いている人の事業所における地位によって区分したもの

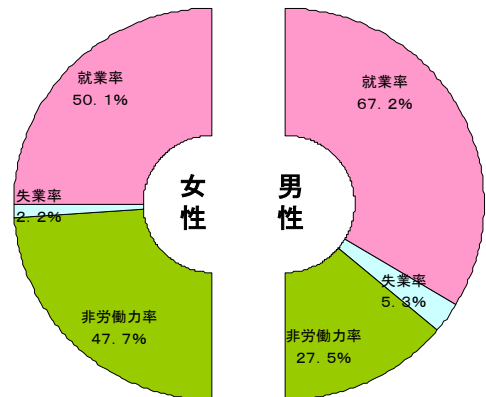
- 雇用者…会社・団体・個人や官公庁に雇用されている人で、「役員」でない人
- 正規の職員・従業員…一般職員又は正社員と呼ばれている人
- 派遣社員…労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人
- パート・アルバイト・その他…この名称又はこの名称に近い名称で呼ばれている人。契約社員、嘱託職員を含む。
- 役員…会社の社長・取締役、団体・法人の理事・幹事などの役員
- 業主…個人経営の商店主・工場主・農業主などの事業主や、開業医等
- 家族従業者…農家や個人商店などで農仕事や店の仕事などを手伝っている家族

経済活動状況

【女性の労働力率】



【男女別経済活動人口の構成比】



※ 経済活動人口について
ここでのグラフは、15歳以上の労働力人口に占める就業者・失業者・非労働力人口の割合を示したものです。

鳥取県の女性の労働力率をみると、全国と比べ全体的に高くなっています。昭和60年と比べると25歳から59歳までの労働力率が増加しています。20歳以降一般的な定年年齢を迎えるまで働き続ける人が増えているのがわかります。